

VI 食と緑の基本計画 2015 海部地域推進プランの概要

1. 海部地域の主な課題等

①農業従事者の高齢化や後継者不足 ②輸入農産物の増加 ③国内の産地間競争の激化 ④安全・安心な農産物の供給 ⑤老朽化した農業用排水施設の整備	⑥農林水産業に直接ふれる機会の減少 ⑦海部地域の特産物の利用拡大につながる取組強化	⑧老朽化した排水施設の整備 ⑨農村の生態系や多面的機能の保全管理 ⑩地球温暖化の防止
--	---	--

3つの視点 ⇒ 1《生産》・2《消費》・3《生活環境》

2. 「食と緑の基本計画 2015」における施策の柱

1 安全で良質な農林水産物の生産と供給の確保	2 県産農林水産物の適切な消費と利用の促進	3 自然災害から守られ、緑と水に恵まれた生活環境の確保
------------------------	-----------------------	-----------------------------

3. 海部地域推進プランの施策と主な重点的取り組み及び施策目標

<p>(1) 生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の推進</p> <p>●他産業との連携により、農林水産物の新たな生産・加工技術や流通・販売方法の開発・普及を推進し、多様化する消費者等のニーズに応えます。</p> <p>★目標 1 「生産者と消費者の思いを伝える農林水産業」のモデル事例の育成 ⇒ <u>5年間で5モデル(+α)を育成</u></p>  <p>(2) 多様な担い手の育成・確保</p> <p>●新品目・新品種、低コスト、増収、省力化・軽労化などの革新技術の導入により、意欲ある基幹経営体の育成を図ります。</p> <p>★目標 2 基幹経営体の育成 ⇒ <u>158経営体→170経営体</u> 3 新規農業就業者の確保 ⇒ <u>10人/年</u></p> <p>(3) 農業生産基盤の整備と優良農地の保全</p> <p>●老朽化や地盤沈下により機能低下した農業用排水施設の更新工事などを行います。</p> <p>★目標 4 生産性維持のための農業水利施設の更新 ⇒ <u>1,090ha</u> 5 自然災害に強い農地の整備 ⇒ <u>2,680ha</u></p> <p>(4) 食品の安全・安心の確保</p> <p>●生産・出荷組織や法人等の大規模農家などを対象に、生産工程ごとの管理を適切に行うGAP手法（農業生産工程管理手法）の導入を推進し、農産物の安全性を確保するとともに、農業生産に伴う環境負荷の軽減を図ります。</p> <p>★目標 6 農産物環境安全推進マニュアルを始めとしたGAP手法導入組織・法人等数 ⇒ <u>7→12</u> 7 畜産農家（牛・豚・鶏）の飼養衛生管理状況の立入検査計画に対する実施率 ⇒ <u>100%の達成</u> 8 JAS法遵守状況調査の実施 ⇒ <u>60か所/年</u></p>	<p>(5) 食と農林水産業に対する県民の理解と活動の促進</p> <p>●市町村や農協、海部苗木花卉生産組合連合会等と連携したイベントの開催や「花育」の実施により、花や緑が身近にある生活の実現をめざします。</p> <p>★目標 9 農林漁業体験に取り組む小学校の割合 ⇒ <u>53.1%→76.5%</u> 10 花と緑の取組組織の育成 ⇒ <u>5組織→7組織</u></p> <p>(6) 県産農林水産物の消費と利用の促進</p> <p>●地元や県内でとれた農林水産物を活用する「愛知を食べる学校給食の日」の取組を、食育月間である6月を含めて年3回、推進月間として設け、小中学校の学校給食において、地産地消を進めます。</p> <p>★目標 11 学校給食において地域の産物を活用する割合 ⇒ <u>32.0%</u> 12 農商工連携等、多様な取組による県産農林水産物を使った新商品開発数 ⇒ <u>2品目</u></p>  	<p>(7) 農地が有する多面的機能の適切かつ十分な発揮</p> <p>●農地・水・環境保全向上対策の農村環境共同活動において、生態系保全を組織の活動として取り組んでいきます。</p> <p>★目標 13 県民との協働連携により生物多様性の保全活動を実施している組織数 ⇒ <u>2組織</u></p> <p>(8) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保</p> <p>●たん水防除事業などにより、老朽化した排水機場の更新、機能低下した排水路の改修及び海岸堤防の耐震補強を計画的に進めていきます。</p> <p>★目標 14 排水機場の整備（5年間で9か所）などにより洪水や地震被害のリスクから守られる住宅戸数 ⇒ <u>22,840戸</u></p>  <p>(9) 環境への配慮と資源の再生・循環利用を図る取組の強化</p> <p>●LEDを始め、省エネルギー技術等の活用により、CO2をはじめとする温室効果ガスの排出量の削減を推進します。</p> <p>★目標 15 農業分野におけるCO2排出量の削減 ⇒ <u>5年間で1,300トン</u>を削減</p>
--	---	---

2015年度

「食と緑が支える豊かな暮らし」の実現

